

普及活動情勢報告（令和5年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

いの町沖田地区の農地の将来を考える ～地域計画の策定に向けて事前検討会を開催～



いの町沖田地区では、ほ場整備を希望する方が多いことから、5月24日にいの町役場で、伊野町沖田土地改良組合、いの町役場及び農業振興センターの12人が参加して、農地活用説明会に向けた事前検討会を開催しました。

町からは地域計画の策定について、基盤整備課からはほ場整備事業について、農業改良普及課からは集落営農についてそれぞれ説明し、会の進め方等を事前に検討しました。当日は、会場に現状の地図を持参し、耕作者情報を集めることにも取り組むこととなりました。

農業改良普及課は、引き続き、土地改良組合や関係機関と連携して沖田地区の農地を担い手へ繋げるよう支援していきます。

ドローン空撮データに基づく適正肥培管理や早期病虫害防除に向けて ～土佐市ショウガスマート農業協議会を開催～



5月25日、土佐市ショウガスマート農業協議会が、JA部会役員4人と関係機関11人参加のもと土佐市複合文化施設つないで開催され、R4年度の活動実績等を協議しました。農業改良普及課は空撮データに基づいた生育診断について説明しました。

役員からは、「空撮での生育診断で適正な施肥を行うことが出来れば、経費削減に繋がる」「今年度も空撮等の調査に協力して欲しい」などの意見が出され、今年度も土佐市ショウガスマート農業協議会の活動を続けていくことで合意されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、スマート農業の導入・推進について検討していきます。

いの町柳野のイタドリをぜひ食べてもらいたい！ ～イタドリを使った加工品の試作会を開催～



6月7日、明るい柳野を創る会がイタドリを使った加工品の試作会を行い、5人が参加しました。加工品の試作にあたって農業改良普及課は、商品の殺菌方法などの衛生管理に関する助言を行いました。

参加者からは、「イタドリの長さはどのくらいが良いか」「どれくらい脱水機にかけたら良いか」など多くの質問が出たので、数種類の試作品を作り、後日試食を行い比較することにしました。

今回試作した商品は令和6年度に商品化することを目指しており、農業改良普及課は、今後も加工品開発の支援を行います。

土佐市の土佐岩戸米の品質向上に向けて ～土佐岩戸米営農組合で水稻栽培技術研修会を開催～



6月19日、土佐市岩戸公会堂で土佐岩戸米営農組合の水稻栽培技術研修会が開催されました。組合員19人と関係機関7人の参加があり、農業改良普及課からは早期稲の生育状況の報告や今後の管理のポイントについて説明しました。またアシストスーツを紹介し着用体験を行いました。

同組合は、去年の「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」早期稲部門において、金賞、特別優秀賞を3人が受賞しています。そのため、栽培も含め大変熱心で「今年の出穂は昨年と比べどう？」、「各アシストスーツの違いは？」等の質問が出ていました。

農業改良普及課は、引き続きJAと連携して、土佐岩戸米の品質向上に向けて支援していきます。